

Y15b 高校生天体観測ネットワーク～2004-2005年度活動と新なる取り組み「高層大気電磁気学分野との連携」

高橋 淳(ミュージアムパーク茨城県自然博物館) 鈴木文二(三郷工業技術高校)、篠原秀雄(三郷北高校) and Astro-HS 運営委員会

高校生天体観測ネットワーク(Astro-HS)は、2004年度には、彗星、金星の太陽面通過、ペルセウス座流星群観測に取り組み、その成果については2004年秋の年会で一部報告済みである。今回は、2004年度の総括に加え、来年度の計画についての発表を行なう。2004年度活動で特筆すべきは、スプライトの観測である。スプライトとは、雷雲上空での放電現象に伴い高度60～100km付近で1/100秒以下の発光が生じる現象のことである。近年の研究から、日本では北陸地域及び太平洋上空で発生しているとされている。観測例は極めて少なく、未だにそのメカニズムについては解明されていない部分が多い。我々は、すでに観測マニュアルを整備して、2004年12月から観測キャンペーンを行っている。このプロジェクトの意義は、天文学のコミュニティで育った「ネットワーク」や「技術」の他分野への応用である。すなわち他分野との(技術的, 人的, 教育的)コラボレーションが成立し、科学及び科学教育の相乗効果が十分に期待できるところにある。また、来年度の観測会についても発表する。